

「GID（性同一性障害）学会雑誌」投稿規定 （2008年12月1日作成）

1. GID(性同一性障害)学会では、性同一性障害に関する社会的、医学的諸問題の解決に寄与しうると考えられる原著、研究報告、速報、総説等を広く募集し、学会誌を発行する。 GID(性同一性障害)学会の学術講演会において報告した演題に関しては、特別演題も含めて、演者は原則として、二次抄録を学会誌に投稿することとする。
2. 原稿の送付：原稿はA4サイズに横書き、見本に示す形式で、Microsoft Word形式（あるいは、テキストファイル形式）で作成し、PDFファイルに変換したものを最終原稿として投稿する。原本のMicrosoft Wordファイル（あるいはテキストファイル）とPDFファイルの両ファイルを電子メールの添付ファイルとして送信、あるいは、CD-R等のメディアの郵送により、下記の宛先に送付する。
3. 送付先： GID(性同一性障害)学会雑誌 編集事務局
メールアドレス：jjsgid@cc.okayama-u.ac.jp
郵送先：
〒700-8558 岡山市鹿田町2-5-1
岡山大学大学院保健学研究科
中塚研究室
e-mailによる受領通知が送られてこない場合は、上記までご確認ください。
4. 著者の情報：著者、または、責任者の連絡先（下記の情報）を送付する。
氏名、所属、住所、郵便番号
電話番号、FAX番号、e-mailアドレス
5. 最終原稿の枚数（図表、文献を含む）：
 - ① 原著論文、研究報告：A4で8ページ以内
 - ② 速報：A4で2ページ以内
 - ③ 学術講演発表演題の二次抄録：一般演題はA4で2ページ以内
特別講演・教育講演・シンポジウム等はA4で2～4ページ
6. 原稿の形式：（別紙見本参照、原稿作成のための所定の形式のMicrosoft Wordファイルは、GID学会ホームページよりダウンロード可能）。（GID学会ホームページURL: <http://gid.sakura.ne.jp/>）

原稿サイズ：A4

余白：上20mm、左20mm、右20mm、下25mm

フォント：MS明朝（日本語）、times（英語）

行数：1ページ40行

文字サイズ：表題14ポイント、演者名12ポイント、所属名10ポイント、本文10ポイント

句読点：「,」と「.」を使用する。

7. 論文の構成：

- (1) 原著論文：要旨（400字程度）、キーワード（4～5語）、目的（緒言）、方法、結果、考察、結論、文献の順に記載する。適宜、図表を挿入することができるが、本文の適当な位置に（図1）、（表1）などと表示する。
- (2) 二次抄録：原則として、目的（緒言）、方法、結果、考察、結論、文献の順に記載するが、ページの範囲内であれば、構成は自由とする。適宜、図表を挿入することができる。
- (3) その他：ページの範囲内であれば、構成は自由とする。適宜、図表を挿入することができる。

8. 学術用語は日本医学会の所定に従い、英語のつづりは米国式とする。外国の地名、人名は原語のまま記載する。句読点は「、」、「。」を用い、単位、記号は m, cm, mm, mg, □g, □ などとする。
9. 文献の引用：論文に直接関係のあるものにとどめ、本文中では引用部の右肩に文献番号¹⁾²⁾³⁾を付ける。本邦の雑誌名は日本医学雑誌略名表に、欧文誌は Index medicis に準じる。

[文献の記載例] (記載例に従い、「:」、「,」、「.」などを正しく使用する。)

(1)学術雑誌の場合: 著者名 (全員): 表題. 雑誌名. 巻: 頁—頁, 発行年.

(例)

1) 山田太郎, 鈴木一郎, 佐藤花子: 性同一性障害の臨床解析. 精神医学. 43: 17-24, 2001.

2) Cohen-Kettenis PT, van Goozen SHM. Sex Reassignment of adolescent transsexuals: a follow up study. J Am Acad Child Adolesc Psychiatry. 36: 263-271, 1997.

(2)単行本の場合: 著者名 (全員): 表題. 編者名. 書名. 発行所所在地: 発行所, 引用頁—頁, 発行年.

(例)

1) 山田太郎, 鈴木一郎, 佐藤花子: 改正特例法. 小川良男編. 性同一性障害者性別取扱特例法. 大阪, 日本出版, 120-145, 2008.

2) Hoffman MS, Cavanagh D: Malignancies of the vulva. Thompson JD, Rock JA eds. TeLinde's Operative Gynecology, 8th ed. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins, 1331-1334, 1997.

10. 論文掲載料: 規定内に要する費用は無料とする。規定を越える部分の印刷に要する費用は著者の負担とする。
11. 倫理的配慮: 個人情報保護や倫理面などに十分に配慮して論文を作成すること。また、他の著作物等からの写真、図表等を含む場合は、その権利者に許可を得ること。編集部で判断した上で適切と考えられる場合に限り、採否を決定するため査読を行なう。
12. 投稿論文の採否:
 - (1) 原著論文, 研究報告, 速報, 総説等に関しては, 査読者 (レフェリー) の意見を参考に編集会議で採否を決定する。採用, 不採用, 条件付き採用の別を投稿者に連絡する。条件付き採用の場合は, 査読者の意見等を伝え, 修正がなされた後, 再審査を行う。最終的に採用が決定した論文に関しては, 希望により掲載証明書を発行する。
 - (2) 学術講演発表演題の二次抄録, 依頼稿に関しては査読を設けない (ただし, 編集事務局において査読が必要と判断されるものを除く)。
 - (3) 論文に対応した査読者名は公表しない。
13. 再投稿: 再投稿の場合も, 原本の Microsoft Word ファイル (あるいは, テキストファイル) と PDF ファイルの両ファイルを電子メールの添付ファイルとして送信, あるいは, CD-R 等のメディアの郵送により, 上記の宛先に送付する。
14. 最終原稿: PDF ファイルを最終原稿として, そのまま学会雑誌 (ISSN 1883-5228) および学会電子ジャーナル (ISSN 1883-5236) に掲載する。
15. 著作権: 本誌, 学会電子ジャーナルに掲載した論文の著作権は, GID (性同一性障害) 学会に帰属するものとする。